

## 平成 26 年度 第 1 回地域活動団体中間支援センター情報交換会

■日時 平成 26 年 7 月 4 日（金）13:30～17:00 ■会場 杉妻会館 牡丹の間

平成 26 年度のふくしま地域活動団体サポートセンターでは、協働のプラットフォーム事業を大きなテーマにしています。市民活動団体と行政、あるいは企業などが協働・連携することでより良い社会の実現に成果や効果が期待されています。情報交換会では、各地域の中間支援センター皆さんと行政でご担当されている職員の皆さんが、情報や意見をとおして活動や業務の充実をはかる一助になれば幸いです。本日はよろしくお祈いします。



### ■講師プロフィール

#### 手塚明美氏

NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会理事・事務局長

1998年NPO法の制定をきっかけに、20年余の地域活動と社会教育活動の経験を生かしNPOの支援を通じたまちづくり団体である、藤沢市市民活動推進連絡会の創設に参画。2001年～2013年藤沢市のNPO支援センターのセンター長を務める。2008年より、企業とNPOの協働によるまちづくりを目指し、神奈川県各地において交流サロンを開催。2012年県内各地のNPO支援者と共に「一般社団法人ソーシャルコーディネーターかながわ」を設立。NPO支援の在り方を柱に、情報収集と発信を進め、NPOを中心とした非営利組織のマネジメント支援、ソーシャルビジネスの起業支援、NPOと他セクターとの連携支援に取り組んでいる。

■本日のスケジュール ※内容や時間等は変更される場合は、ご理解とご協力をお願いします。

13:30～13:40	<b>開 会</b> □あいさつ 福島県企画調整部文化スポーツ局文化振興課 佐藤弘美課長 ふくしま地域活動団体サポートセンター総括 星野珉二
13:40～14:40	<b>講 演</b> □「協働のまちづくり」 講師 手塚明美氏 NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会理事・事務局長
14:40～14:50	<b>休 憩</b>
14:50～15:40	<b>I H25 年度事業報告および H26 年度事業計画</b> □各支援センター（4分） □意見交換
15:40～16:10	<b>II 協働または連携事業の事例紹介</b> □支援センターから事例紹介
16:10～16:15	<b>休 憩</b>
16:15～17:00	<b>III 情報交換</b> 「協働に必要なことは」他 □講演「協働のまちづくり」質疑応答を含む

■内容：

○開会あいさつ



【県文化振興課 佐藤弘美 課長】



【ふくしま地域活動団体サポートセンター 星野総括】

○講演「協働のまちづくり」

協働のまちづくりについて、

- ・ 藤沢市市民活動推進連絡会が設立されるまでの経緯その後の取組
  - ・ 藤沢市における NPO と行政・企業との協働・連携の先進事例紹介
- をまじえながら、今後福島県におけるまちづくりの視点で講演いただいた。



【講師 手塚明美 氏】



【協働を实践～背中あわせになり歩く様子】

＜協働についてのポイント＞

○公共サービスの担い手は変化し、これからは行政だけでなくNPO、企業、自治会・町内会、事業者などさまざまな担い手が協働・連携して社会の課題を解決していく

○協働する相手と、互いの方向を確かめ合い、共通する受益者を想定するなど「協働のころえ」をもつこと

○まちの課題を探して“当事者”になることによって、多様な主体が地域に関わり、それが協働のまちづくりにつながる

また講演では、藤沢市におけるNPOの行政・企業との協働・連携の取組みについて事例を挙げ、参加者を背中あわせにして（周りを見ながら、同じ目標に向かって）歩く様子から、協働のあるべき姿を具体的に解説していただいた。

## ○Ⅰ部 H25年度事業報告およびH26年度事業計画

平成25年度事業報告および平成26年度事業計画について、各中間支援センター（復興関連のふくしま連携復興センター、3.11被災者を支援するいわき連絡協議会を含む12団体）より報告いただいた。



【情報交換会の様子】

## ○Ⅱ部 協働または連携事業の事例紹介

各中間支援センター（8団体）より、行政や企業との協働・連携事業について事例紹介いただいた。（事例紹介）

- ・ 寄付ギフト（企業×NPO）
- ・ インターンシップ（企業×NPO）
- ・ 地域協働災害ボランティアネットワーク構築（NPO×社協）
- ・ 観光振興支援（NPO×市民活動団体）
- ・ 地域課題解決のための自治モデル構築（行政×NPO×自治会×地域住民）
- ・ スノーパトロール（行政×NPO×自治会×学校×商工会青年部×青年会議所×地域住民）
- ・ 除染情報プラザ情報交換会（行政（国・県）×NPO）
- ・ ふくしま復興応援隊事業（行政（県・市町村）×NPO）
- ・ みんなの研修・交流スペース企画運営事業（行政×NPO）
- ・ 被災者・避難者の多様な支援事業（行政×NPO）

## ○Ⅲ部 情報交換「協働に必要なことは」他

手塚氏の講演「協働のまちづくり」や、各中間支援センターの協働・連携事例の共有を通して、参加した市町担当者より感想や意見をいただいた。

（主な感想・意見）

- ・ 復興と従来からの地域課題解決をリンクさせたまちづくり活動が必要な時期に来ている。
- ・ 協働の必要性はみんな感じているが、実際の協働の手法がまだまだわかっていない。
- ・ 地域のために自分は何ができるかがスタートライン。自分の地域に関心をもつきっかけづくりが大切である。
- ・ 市民活動からの地域交流を促進していきたい。
- ・ 協働は、行政からだけではなく、民間から声があがることが理想である。
- ・ 行政が積極的に消防団等の地域活動へ参加していくことが重要である。
- ・ 地域住民による選定組織を設置し、審査段階から住民が関わり、住民自らが協働事業を選定し、補助金を交付、活動を実施している。
- ・ 協働のかたちはさまざまで、お互いに協働の相手を好きにならなければならない。

各中間支援センターより昨年度事業実績、今年度事業計画報告や協働・連携の事例が共有され、有意義な情報交換の場となった。参加者からは「あらためて協働について考える機会となって良かった」「県内の他団体の事例を聞くことができ、今後の事業の参考になった」などのお声をいただいた。当センターでは、今後も、皆さんからのご意見・ご提案を活かしていきながら各中間支援センターの情報共有、ネットワーク強化の場づくりやネットワーク構築に努めていきたい。